

○サウンディング型市場調査について

白馬村水道事業では、厳しい経営状況の打開策として、二股浄水場の再構築における官民連携、及び、水分野におけるPPP／PFIの新たな手法である「ウォーターPPP(管理・更新一体マネジメント方式)」の導入について検討しております。本検討に際しまして、民間事業者の皆さまの参入意向や事業スキームなどについての考え方を把握し、導入検討や事業者募集に係る各種条件を検討するため、サウンディング型市場調査を実施しました。

○サウンディング型市場調査の結果

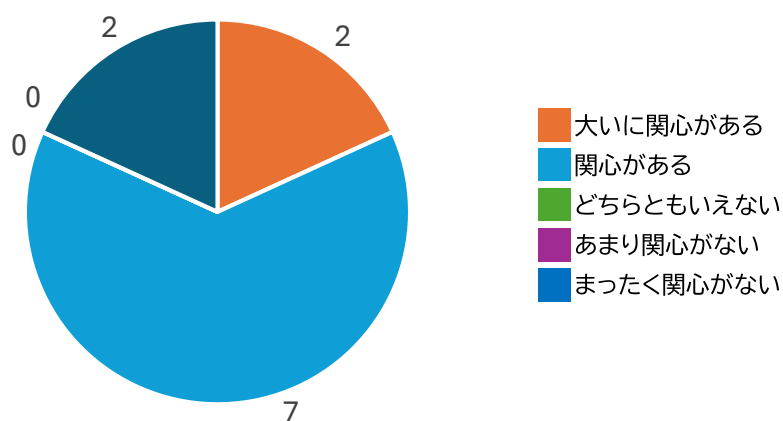
「二股浄水場再整備に伴う官民連携に向けたサウンディング型市場調査」の結果は下記の通りになりました。

【二股浄水場再整備についての調査】

4.二股浄水場の再整備事業への認識・関心の度合いについて

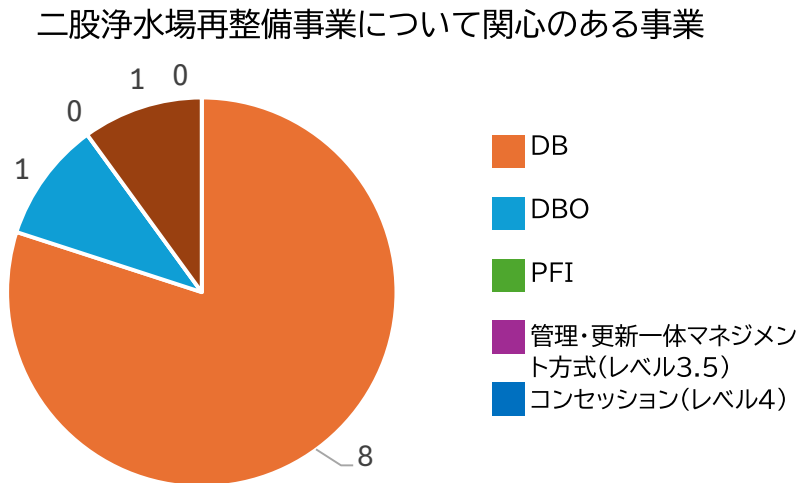
(4-1)二股浄水場の再整備事業に対する関心の度合いについてお答えください。

二股浄水場の再整備事業への認識・関心

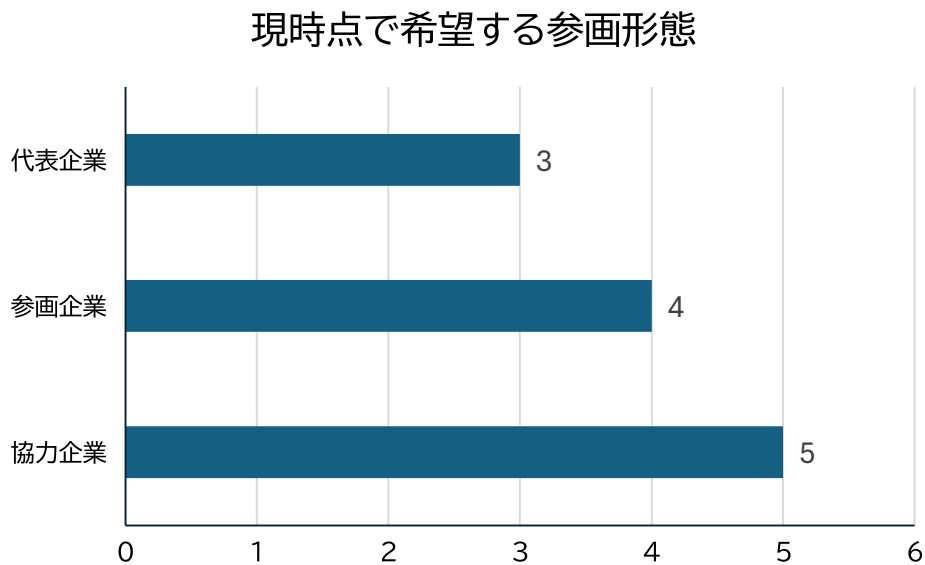


以下、「二股浄水場再整備事業」に「大いに関心がある」「関心がある」と回答いただいた方にお伺いします。

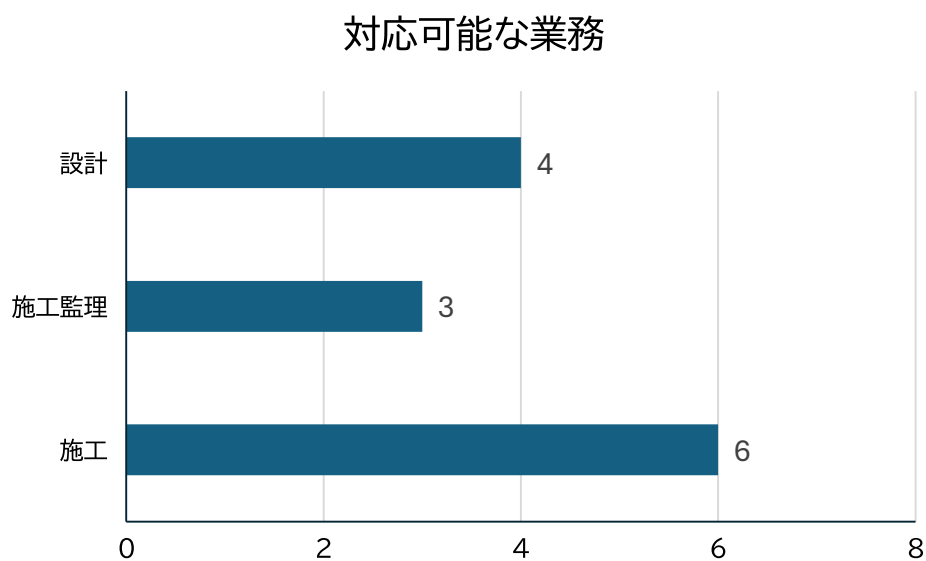
(4-2)二股浄水場再整備事業について、関心のある事業方式をお答えください(複数回答可)。



(4-3)現時点で希望する参画形態を教えてください。



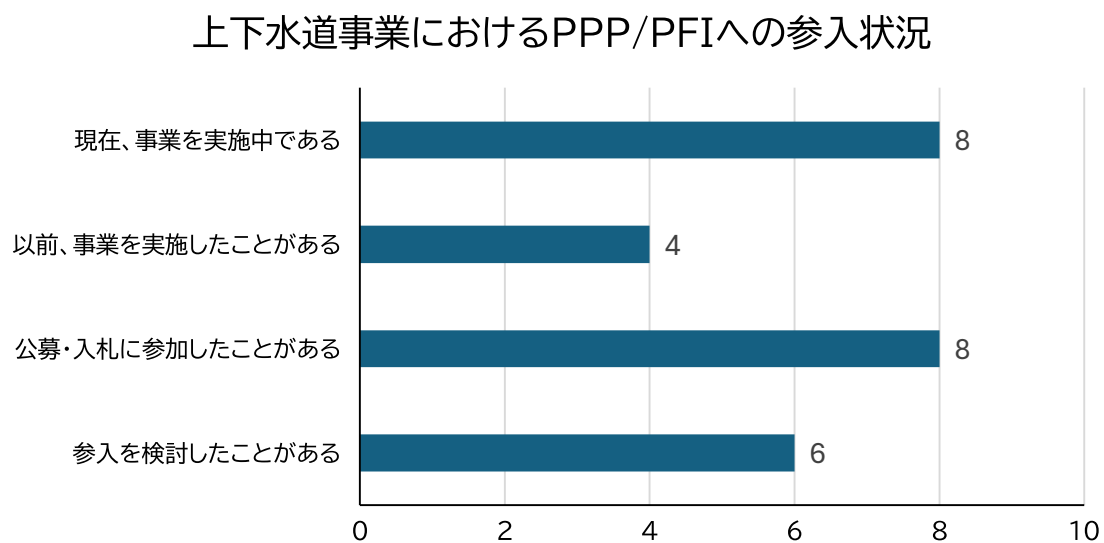
(4-4) 対応可能な業務を選択してください(複数回答可)。



【PPP/PFI 事業についての調査】

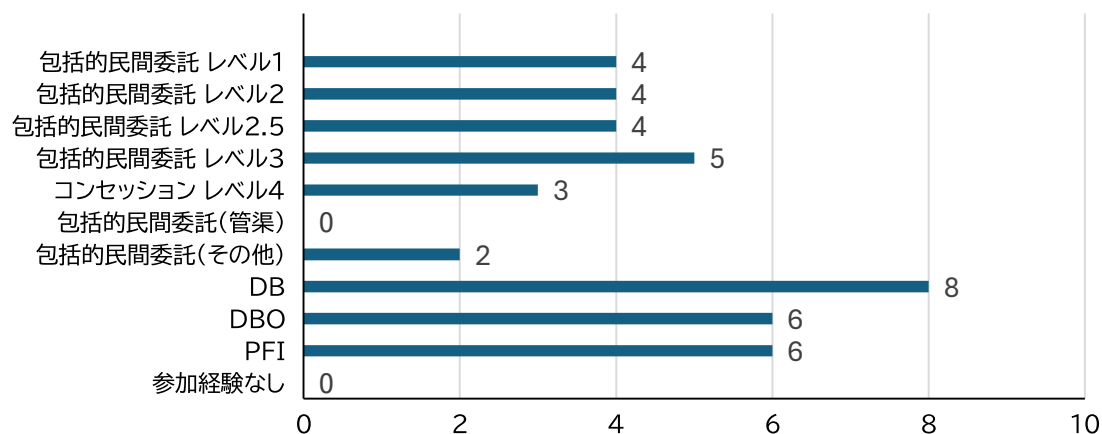
1. 上下水道事業における PPP/PFI 事業への参入実績について

(1-1) 上下水道事業における PPP/PFI 事業への参入状況についてお答えください(複数回答可)。



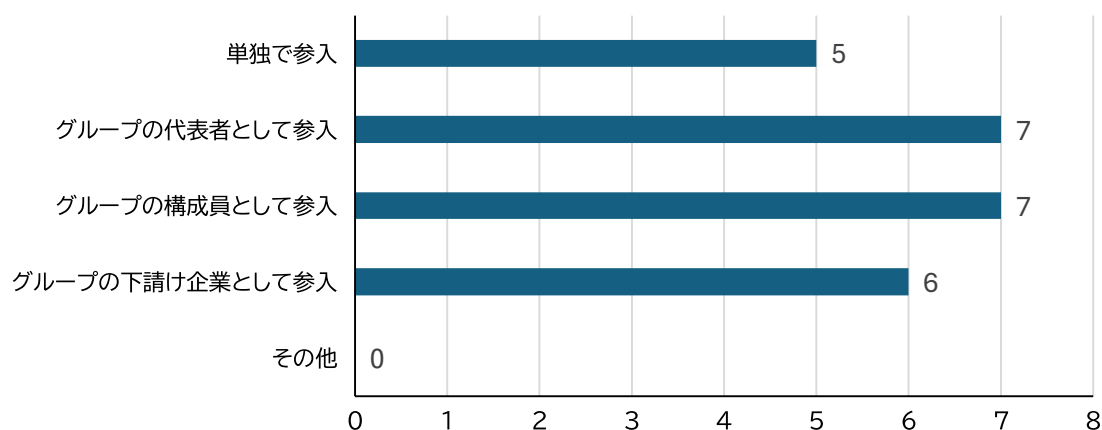
(1-2) 下記のうち、過去に上下水道事業において参入したことのある事業形態、又は、現在参入している事業形態があればお答えください(複数回答可)。

過去に上下水道事業において参入したことのある事業形態、
又は、現在参入している事業形態



(1-3) 下記のうち、過去に上下水道事業において参入したことのある事業形態、又は、現在参入している事業形態において、参入時の体制・立場についてお答えください(複数回答可)。

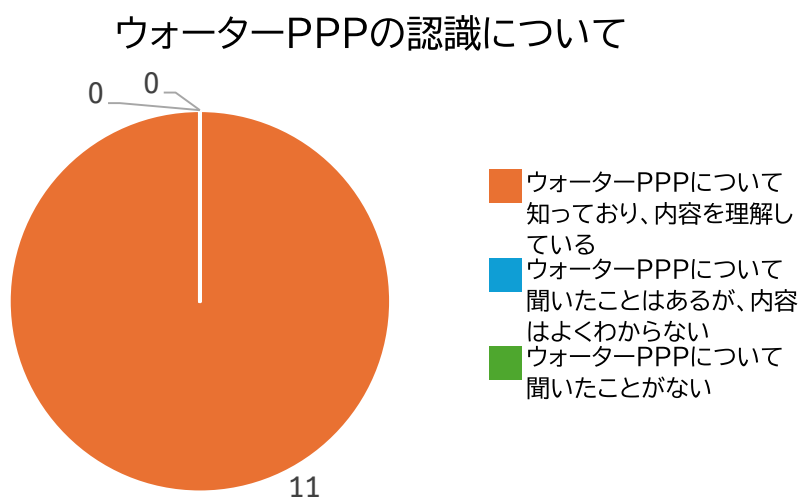
過去に上下水道事業において参入したことのある事業形態、
又は、現在参入している事業形態において、参入時の体制・立場



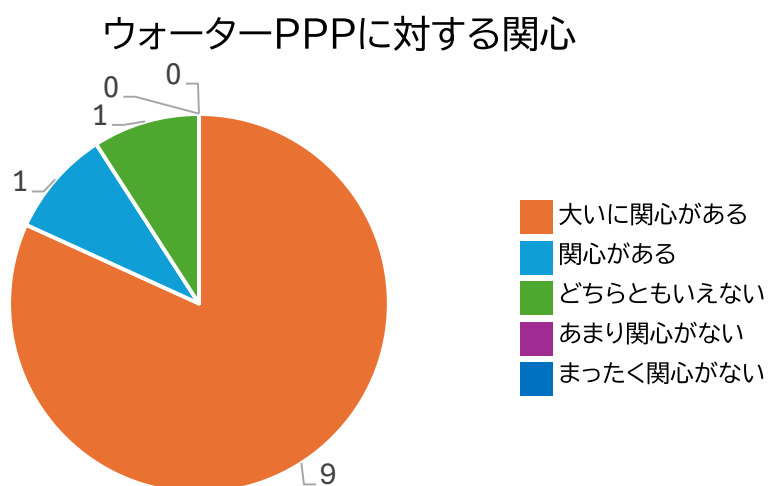
【ウォーターPPP についての調査】

2. ウォーターPPP への認識・関心の度合いについて

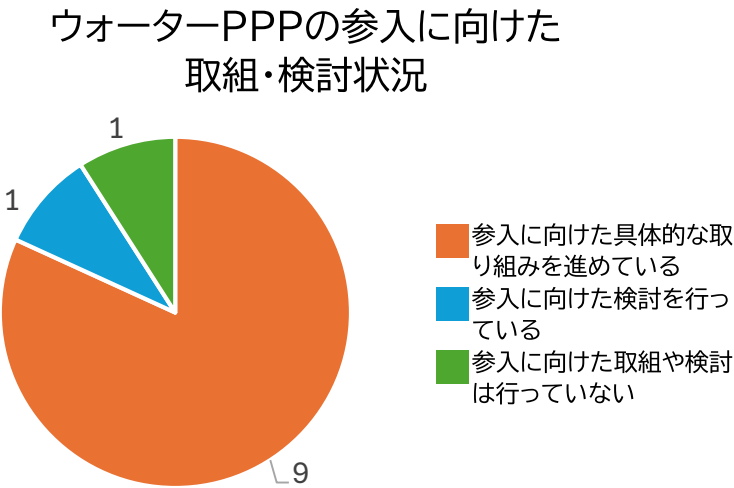
(2-1) ウォーターPPP の認識についてお答えください。



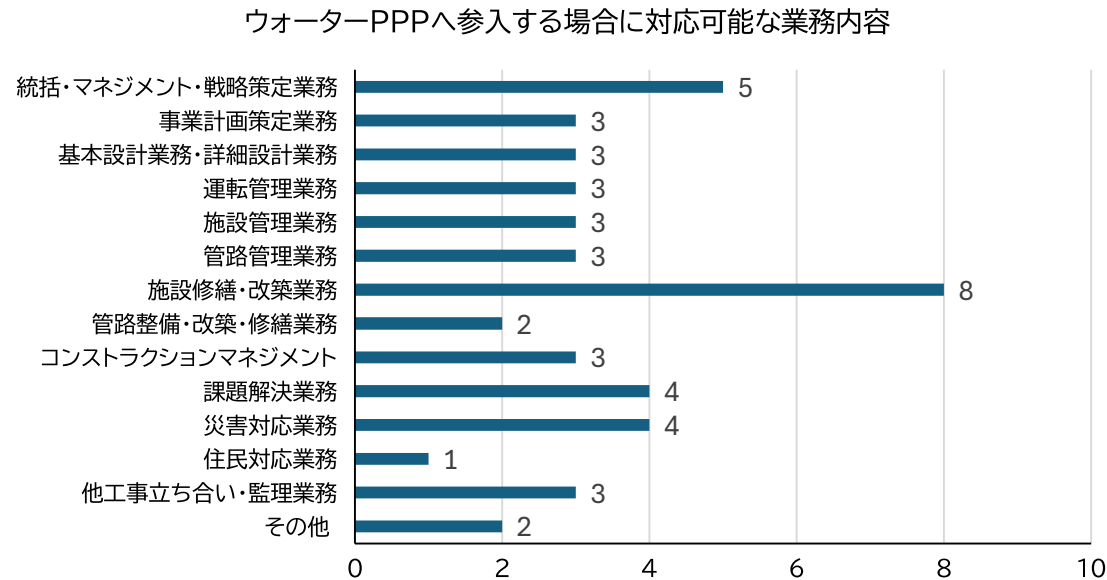
(2-2) ウォーターPPP に対する関心の度合いについてお答えください。



(2-3) ウォーターPPP の参入に向けた取組・検討状況についてお答えください。



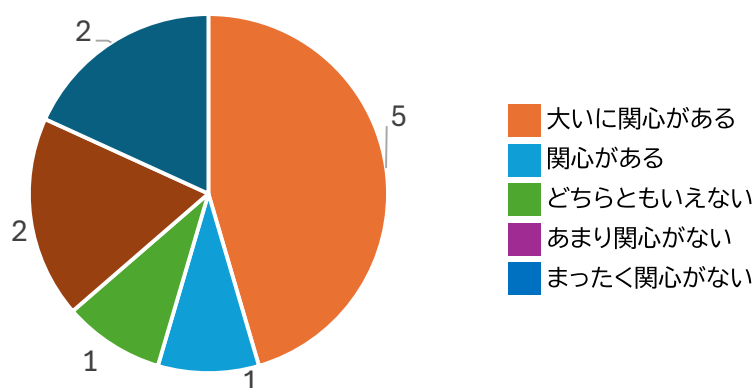
(2-5) ウォーターPPP へ参入する場合に貴社が対応可能な業務内容についてお答えください。(複数回答可)



5.上下水道施設等に係る管理・更新一体業務への認識・関心の度合いについて

(5-1) 上下水道施設等に係る管理・更新一体業務に対する関心の度合いについてお答えください。

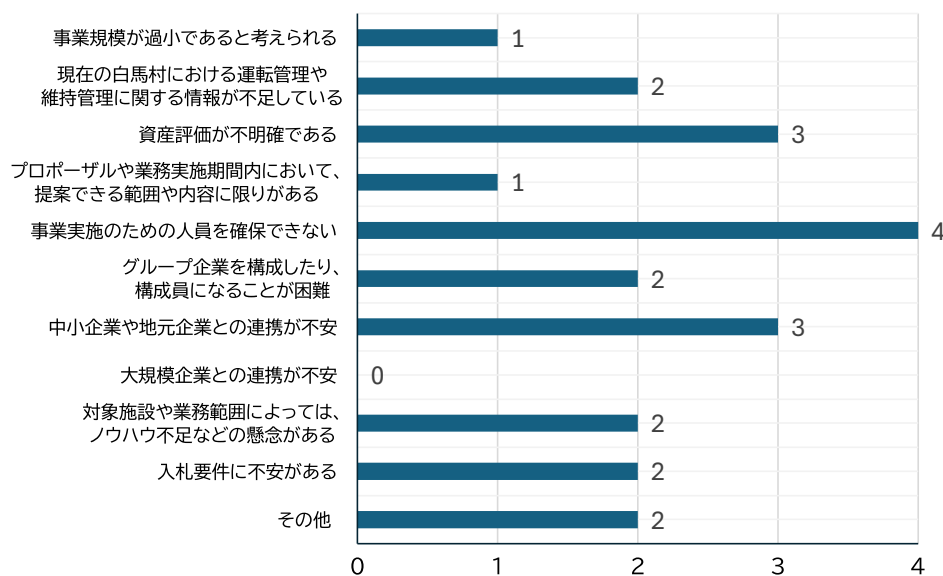
上下水道施設等に係る管理・更新一体業務
に対する関心



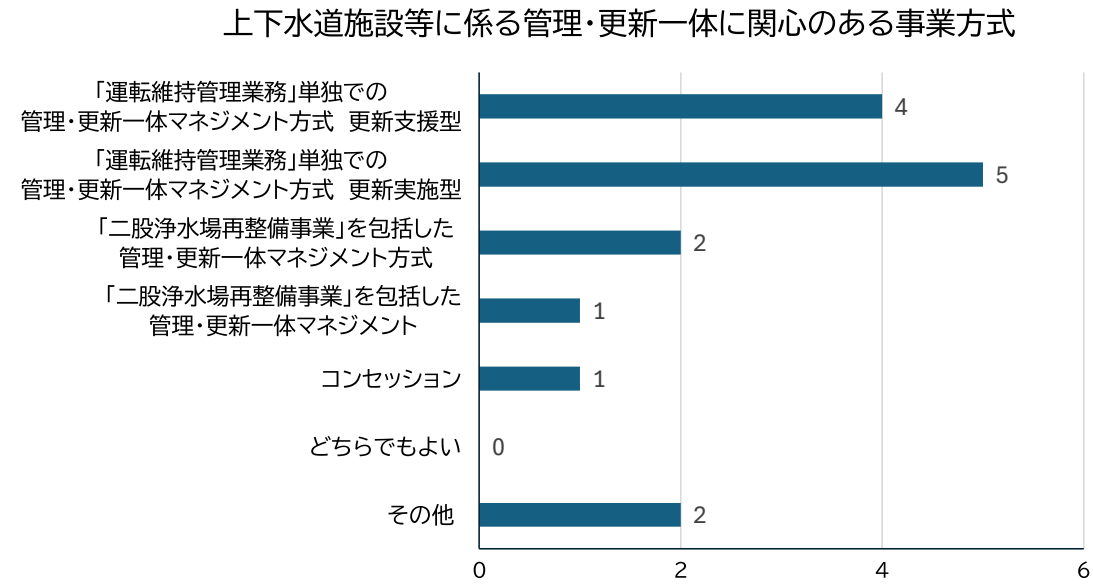
以下、「上下水道施設等に係る管理・更新一体業務」に「どちらとも言えない」「あまり興味がない」「まったく興味がない」と回答いただいた方にお伺いします。

(5-2) 差し支えなければ理由をお答えください。(複数回答可)

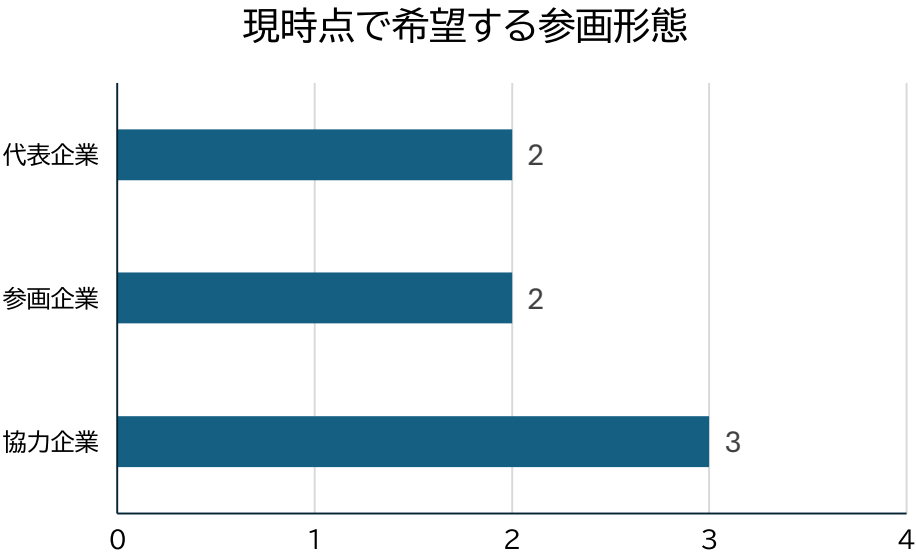
上下水道施設等に係る管理・更新一体に関心が低い理由



(5-3) 上下水道施設等に係る管理・更新一体業務について、関心のある事業方式をお答えください。(複数選択可)



(5-4) 現時点で希望する参画形態を教えてください。



○サウンディング型市場調査結果を踏まえた今後の方針

今回のサウンディング型市場調査におきまして、民間事業者の皆さまから貴重なご意見・ご提案を賜り、誠にありがとうございました。

白馬村水道事業では、「二股浄水場の再整備事業」における官民連携の実施を検討しているとともに、運転維持管理業務において、「上下水道一体のウォーターPPP(管理・更新一体マネジメント方式)」の実施についても検討しているところです。

本アンケートでは、二股浄水場の再整備事業については DB 形態に対する関心が高く、民間事業者の皆さまからの具体的な参画意向が確認できた一方で、選択肢には無い仕様書発注を希望する民間事業者も見受けられました。ウォーターPPP については「二股浄水場の再整備事業」と「運転維持管理業務」の分離が求められる傾向が見受けられ、本分離がされている条件であれば「更新支援型」と「更新実施型」の間に大きな関心の差は無い結果となりました。

また、「上下水道施設等に係る管理・更新一体業務」に関心が低い企業の理由としましては、「事業実施のための人員を確保できない」という回答が最も多い結果となり、上下水道業界全体として技術者数が減少している現況を反映する結果となりました。本結果については、今回のアンケートの主目的である官民連携事業の検討のみならず、今後の白馬村上下水道事業全般において留意すべき重要事項と認識しており、今後の事業運営において念頭に置きたいと考えております。

本結果を参考に、「二股浄水場の再整備事業の官民連携」及び「上下水道一体のウォーターPPP(管理・更新一体マネジメント方式)導入」の検討を進めていきたいと考えております。

今回アンケートにご協力いただいた民間事業者の皆さまには、後日、ヒアリング調査等を実施させて頂く場合がございます。その際は引き続きご協力いただけますと幸いです。

以上